

平成27年度第2回ボランティア市民活動推進協議会 次第

日時 平成28年3月9日(水)19:00～
場所 四国中央市保健センター 1階集団検診室

【次第】

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

- ・ボランティア市民活動推進計画(7章・8章)について(報告) 資料①②
- ・ボランティア市民活動センターについて(報告) 資料③
- ・ボランティア市民活動センターの開館日・時間について 資料④⑤
- ・ボランティア市民活動センターの講座・講演会について 資料⑥
- ・その他

4. 閉会

第7章 災害に備えたボランティア活動と連携

～安心・安全のまちづくり～

7-1 災害に備えた取り組み

阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓から、災害時における市民の主体的な活動への期待が高まっています。危機に直面したときのきめ細かなニーズをとらえ、自らの判断で適切に行動する習慣は、一朝一夕に形成されるものではありません。普段から主体的な活動を積み重ねることで必要な行動を発見し、創造し、危機に対して適切な対応をとることがより可能になります。このようなことから、日常のボランティア活動の経験は、災害時などにおける社会全体の対処能力を向上させることが期待できます。

また、本市が被災した場合、被災者から物資の援助をはじめとするさまざまな支援が求められることから、ボランティア団体やNPO法人などの特性である柔軟性、迅速性などを生かした活動が必要不可欠となるため、日頃からの連携を図ることが重要です。



7-2 災害ボランティアの育成

被災地におけるボランティア活動が非常に重要な役割を担っていることは、さまざまな災害現場での復興・支援に大きな力を発揮していることから明らかです。

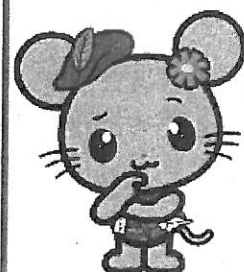
本市が被災した場合、センターは、社会福祉協議会が中心となり設置される災害ボランティアセンターの運営などを補完する役割が求められるため、平常時より行政及び社会福祉協議会と連携を図り、災害ボランティア事前登録制度を活用しながら、災害時に各地から集まるボランティアをコーディネート出来る災害ボランティアの育成を行う必要があります。

また、そのような人たちが、災害時の対応について、自主防災組織と連携を図り、災害が起こった際の対応などを検討することが、地域防災力の向上につながるため、日頃から交流の機会をつくることも効果的です。

【用語解説】

■ 自主防災組織とは…

災害が起こった場合、出火の防止、初期消火、災害情報の収集伝達、避難誘導、被災者の救出・救護、応急手当、給食・給水の実施などにおいて市民の自主的防災活動が求められます。これらの役割を担う組織が自主防災組織です。



第8章 地域コミュニティの活性化

～身近な助け合いを大切に～

8-1 多様なコミュニティの連携

本市には、地域社会を形成していく上で中核となっている自治会、町内会などをはじめとして、地区社会福祉協議会、老人会、婦人会、PTA、愛護班など、また、NPO 法人やボランティア団体などの多様なコミュニティが存在します。

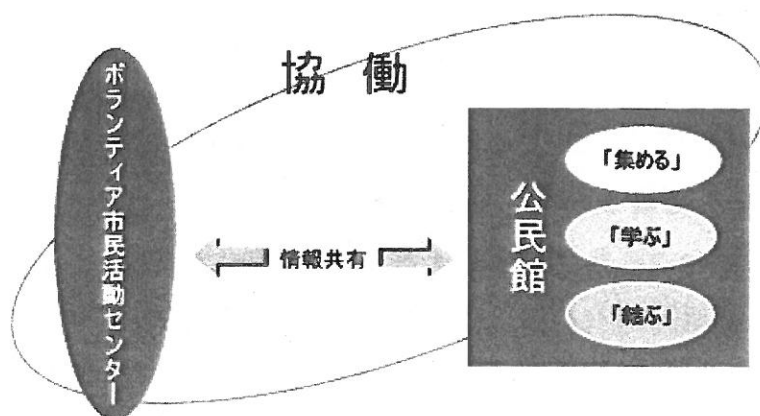
それぞれのコミュニティにより、活動範囲や特性に違いはあるものの、共により良い地域づくりに向け課題や問題の解決に自主的に取り組んでいるため、お互いの活動の中での思いや目的を共有出来る部分が大いにあるはずです。活動に当たっての目的や思いを共有出来る団体同士が、共有出来る部分において協力し、それぞれの強みとノウハウを生かして協働することにより、地域課題の解決や共通する目的の実現がより効率的・効果的に図られるとともに、地域コミュニティの活性化にもつながります。

8-2 公民館を拠点とした地域づくり

平成25年6月に策定された四国中央市地域コミュニティ基本計画では、各地区の公民館に、さまざまなコミュニティが集い、ネットワークを広げることの重要性が示されているため、自治基本条例でコミュニティとして定義され、推進計画の対象団体となっているボランティア団体をはじめ、自治会などの地縁型組織や企業などは、今後、公民館におけるボランティア活動をはじめとする、さまざまな活動に積極的に参画することが重要です。

その公民館は、現在、住民の生活に即ず教育、文化などの社会教育活動に加え、レクリエーション活動や親睦活動という地域の人と人との絆を強める活動のほか、環境保全や安心・安全活動という地域課題解決に向けたコミュニティ活動全般にまで拡大しています。また、これからは、地域の社会力の醸成の場として、公民館が持つ「集める」「学ぶ」「結ぶ」の機能を生かして、地域力の向上を図ることが求められます。

このようなことから、公民館とセンターとが、情報を共有し、協働出来るような体制を構築することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。



地域コミュニティ活性化モデル事業



花いっぱい活動（川滝地区）



海岸一斉清掃（豊岡地区）



非常食体験（蕪崎地区）

地域コミュニティ活性化事業とは

市では、平成25年6月に策定した「四国中央市地域コミュニティ基本計画」に基づいて、公民館単位の地区ごとの住民がそれぞれの地域が抱える課題について、住民自ら解決に向けての方法を考え、行動することにより地域課題の解決や住民同士の絆の再生、そして地域力の強化を図る地域コミュニティ活性化事業を開始しました。

昨年度、川滝、豊岡、蕪崎の公民館区域をモデル地区に選定し、地区コミュニティ協議会の設立や住民集会の開催、地区コミュニティ計画がまとめられました。今年度からはその計画に基づいて具体的な事業が実施されています。

事業の主役は地域住民

少子高齢化や核家族化の進展、また個人の価値観の多様化などによって、地域を支える人材が不足し、住民同士のつながりが希薄化していると言われています。しかし、防災をはじめ、美しい自然を引き継ぐ取り組みや子育て世代が安心して暮らせる環境づくりなど、地域に必要な取り組みは地域で協力して実施していく必要があります。

地域のことを一番知っているのはそこに住んでいる皆さんです。地域の皆さんで地域の将来や課題について話し合い、みんなで考えたまちの将来像に向かって事業を進めることで、市が行う一律の取り組みよりも、地域ニーズに応じたまちづくりができ、そして地域の絆の再生につながると期待しています。



豊岡地区で行われた住民集会の様子

強みを持ち寄り協働

地域内には自治会、愛護班、老人会、地区社会福祉協議会、消防団、交通安全協会などさまざまな活動団体があります。

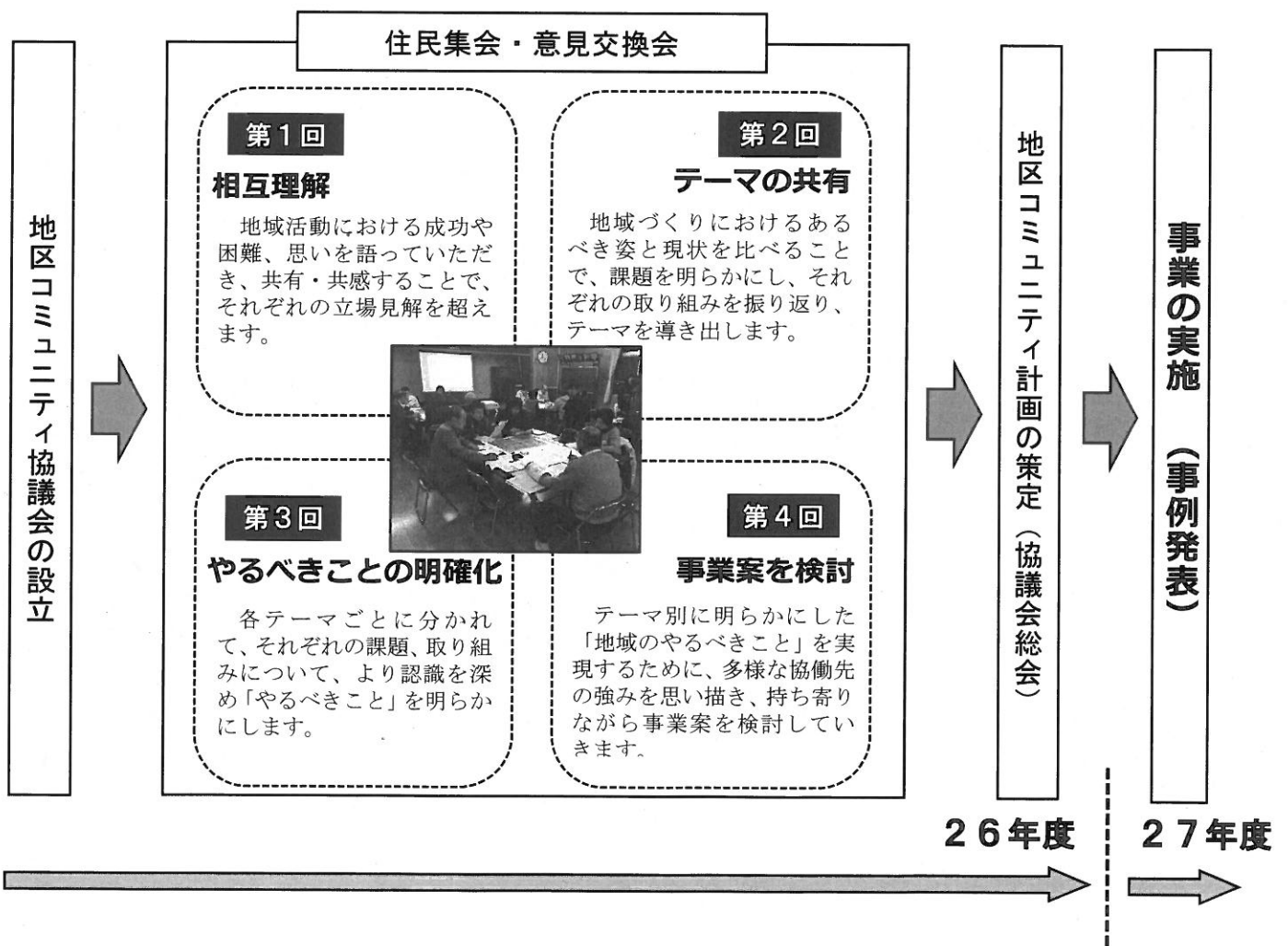
これらの団体や住民などで組織したものが地区コミュニティ協議会です。地域内の団体が世代や性別の枠を超えて、それぞれが持つ「強み」を持ち寄り、協働することにより、これまで取り組めなかった活動や各団体の活動がさらに活性化すると考えています。また、地域みんなの顔が見える関係を築くことにより、地域の一体感や安全安心なまちづくりにつながると考えています。

地域を知る職員がサポート

モデル地区には、地域と市とをつなぐ窓口またサポーター役として、地元出身の職員などを地区担当職員として2名配置しています。地区担当職員は、地域で行われる事業に係る会議等の運営補助や地域と市との連絡調整などの役割を担っています。

地区担当職員を配置することで、地域と行政がより綿密に関わりを持ちながら、各種団体の連携や情報共有が図られ、地域課題の解決の取り組みが円滑に進められます。また、こうした人的支援のほかに事業実施にかかる経費を補助しています。

事業の流れ



川滝地区で実施された事業

①花いっぱい事業

地域のつながりが希薄化している状況の中で、地域住民が集い交流する機会として花植えを行いました。作業の際には、川滝地区コミュニティ協議会の活動であることがわかるようにのぼり旗を設置し、配布したプランターには協議会のステッカーを貼り付けるなど協議会のPRも行いました。

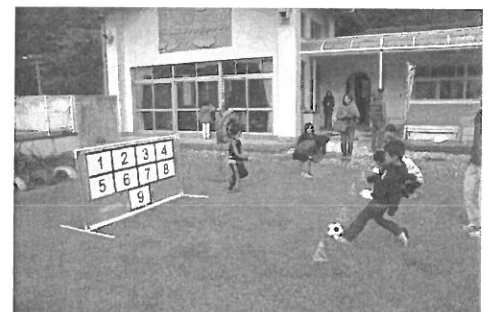


花植えの様子↑
プランターのステッカー→
←コミュニティ協議会の活動を知らせるのぼり旗



②子育て支援事業

子どもが減少し世代間交流や親同士の交流が少なくなるとともに、育児の相談を気軽にできる場所が地域内にはないとの声がありました。そこで、就学前の子どもを中心とした世代間交流、また親同士の交流を図ろうと旧葱尾保育所で子育て支援事業を実施しました。次回は平成28年2月28日（日）に開催しますので、ぜひ遊びに来てください。詳しいことは公民館（28-6252）まで！



子育て支援事業

豊岡地区で実施された事業

①海岸清掃&交流イベント

大切な地域資源である海岸に雑木が茂り、たくさんのゴミが漂着し、粗大ゴミ等が放置されている状況でした。そのため平成27年11月8日に海岸の環境美化に取り組むための海岸清掃を実施しました。清掃終了後は、みんなで昼食を食べたほか、参加者同士の交流イベントをしました。



海岸清掃

交流イベント

②子どもの見守り体制の充実強化



小学生の登校の見守り活動

安全で安心して遊ばせる場所が少なくなったとの声を受け、地域ぐるみで子どもを守り育てるまちづくりを行うために、よく目立つ黄色のユニフォームを揃え防犯の強化に努めました。

③花いっぱいのもちづくり

地域住民のボランティア意識の向上を図るために、みんなで協力して国道11号線の路肩等への花植えや草刈りを行いました。



花植え

蕪崎地区で実施された事業

①自主防災組織出前講座・防災意識を高めるゲーム形式の講座

蕪崎地区内における自主防災組織の組織率100%を目指して、防災意識を高めるゲーム形式の講座を平成27年8月23日（日）に行いました。改めて自主防災組織の必要性を学ぶとともに自治会ごとの危険箇所等を図上に表記するなどして防災マップを作成しました。



防災マップ作り

②花いっぱい活動&非常食体験

地区内の環境美化に努めるために花いっぱい活動と、蕪崎地区内における自主防災組織の組織率100%を目指した非常食体験を、平成27年9月27日（日）に実施しました。



花植え



非常食体験

③三世代地域清掃&三世代レクリエーション大会&炊き出し体験

大切な地域資源である海岸が、草木が茂り、漂流ゴミや不法投棄のゴミがあふれている状況でした。そのため、平成28年1月31日（日）に海岸清掃を行いました。清掃後には、みんなでレクリエーションゲームを楽しみ交流を深めるとともに、災害に備えた炊き出しを実施しました。



海岸清掃



炊き出し体験

平成27年度 マッチング状況(月別分類分け)

月	1 福祉	2 教育	3 環境	4 イベント	計
4月	28			1	29
5月	20				20
6月	18		2	1	21
7月	32				32
8月	17				17
9月	21	1			22
10月	11			2	13
11月	15				15
12月	17				17
1月	15	1		1	17
2月	13	2		2	17
3月					
計	207	4	2	7	220

* 福祉関係 高齢者介護等施設への訪問、おさがりバンク、保健センター事業の手伝い、プルトップ回収など

* 教育関係 手話教育

* 環境 神社清掃

* イベント 各種イベントの手伝いや出し物

ボランティア市民活動センターの開館状況

○休館日

月曜日及び祝日の翌日

(例) 3月の休館日

3月7・14・21・22・28日

○開館時間

・火～金 10:00 ～ 18:30

・土・日・祝日 10:00 ～ 17:00

平成27年度 センター利用状況(月別分類)

	登録・相談		派遣依頼		施設・設備使用		その他		計
	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	
4月	104	13	43	0	51	7	46	8	272
5月	73	15	80	7	44	18	21	5	263
6月	80	7	43	4	32	3	40	10	219
7月	84	8	58	4	47	9	39	12	261
8月	72	5	32	11	25	9	51	5	210
9月	58	10	42	3	23	10	80	1	227
10月	50	6	49	6	38	13	30	12	204
11月	64	19	39	2	34	12	1	6	177
12月	14	8	31	7	20	8	42	12	142
1月	32	5	38	3	23	8	33	26	168
2月	46	3	37	9	28	9	22	6	160
3月									
計	677	99	492	56	365	106	405	103	2303

平成27年度ボランティア市民活動センター自主事業一覧

○ボランティア市民活動研修会

講師 愛媛大学 教授 前田真 氏

全5回 13:30～15:30 ボランティア室

7月28日(火) 演題 ボランティア活動のいろは

8月11日(火) 演題 地域づくりの課題を考える

8月25日(火) 演題 地域づくりの課題解決

9月1日(火) 演題 地域の資源開発に向けて

9月15日(火) 演題 起業・NPOの活動

○災害ボランティア活動研修会

演題「みんなの力で地域を守る」

講師 金野 廣悦(陸前高田市米崎中学校仮設住宅自治会長)

3月4日(金) 19:00～20:30 福祉会館4階多目的ホール

○ボランティアの交流とネットワークの促進

ボランティア市民活動交流会

12月20日(日) 13:00～15:30 福祉会館4階多目的ホール

○ボランティア育成講座

・点字教室 全6回(6月～7月) 19:30～21:00 ボランティア室

・手話教室 3会場にてそれぞれ全6回(6月～7月) 19:30～21:00
川之江文化センター・ボランティア室・土居福祉センター

・朗読教室 全7回(9月～10月) 13:30～15:30 ボランティア室

・傾聴教室 全6回(11月～12月) 13:30～15:30 ボランティア室